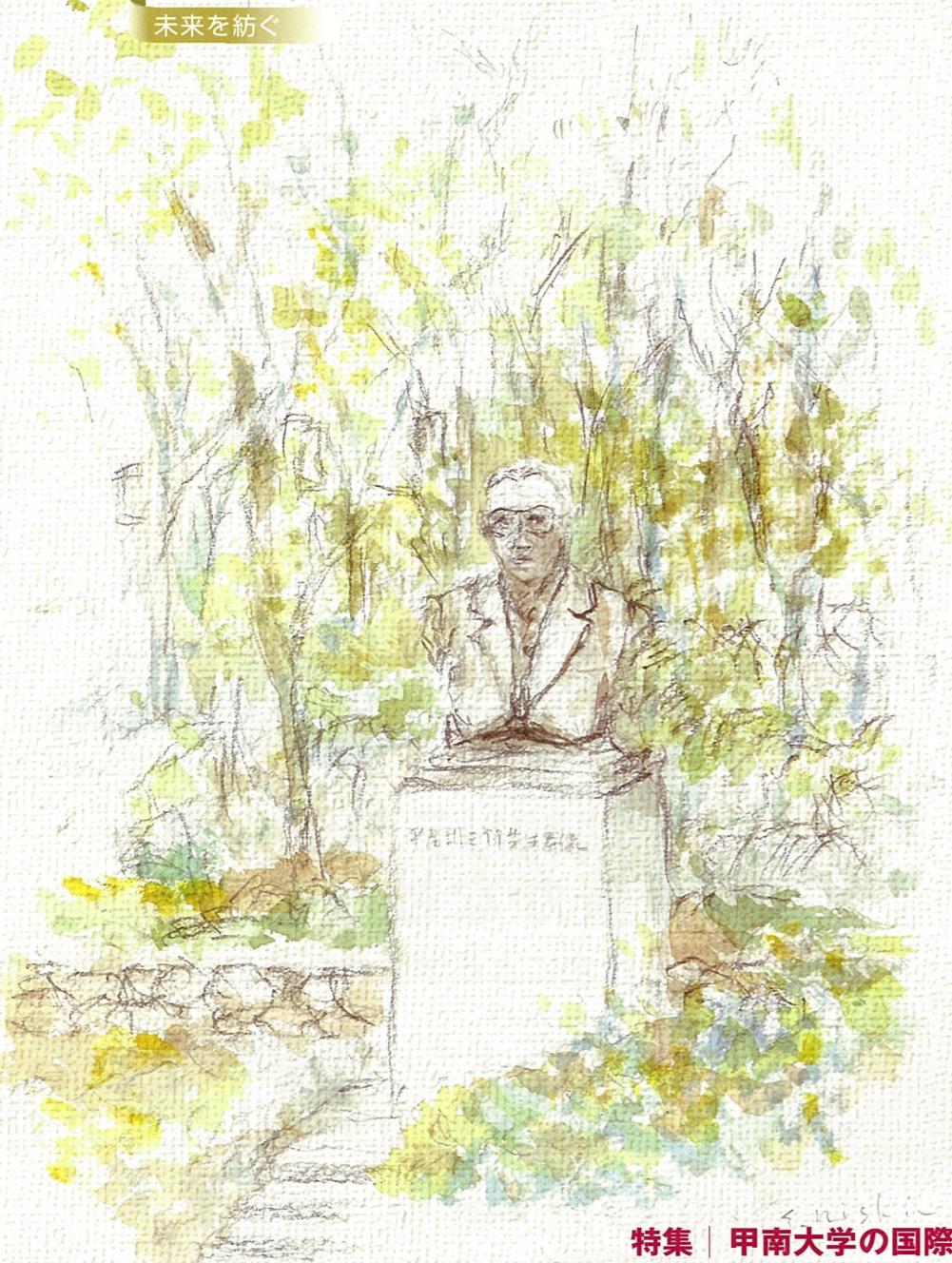


甲南Today

甲友のリレーションで、

未来を紡ぐ



特集 | 甲南大学の国際化へのチャレンジ

甲南プログレス・プロジェクト

No.27
2007 APR.

甲南Today No.27

2007年4月24日発行 [発行] 甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1 TEL 078-431-4341(代)



中井 久夫 先生／神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職、4月より「兵庫県こころのケアセンター」所長に就任。『精神医学の経験』全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。

七年制高校は大正デモクラシーの申し子／とは経済学者・森嶋通夫氏の言／文部官僚の日の仇／留年率を官立高校の倍にせよ／学年毎に一割落とせ／経営難なら国立に／その代わり三年制だ／小規模校の甲南は／坊ちゃん学校といわれつつ／学者と医者になる率もっとも多く／ユニークな起業家も多かつた／

七年制高校は大正デモクラシーの申し子／とは経済学者・森嶋通夫氏の言／文部官僚の日の仇／留年率を官立高校の倍にせよ／学年毎に一割落とせ／

九鳥杖



▲旧制甲南高等学校正門
(1942年頃)



甲南大学正門 ▶
(2006年)



「恩賜の杖」(鳩杖・はとづえ)：鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生鉢三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいている。



2008年4月、 知能情報学部を 開設予定

KONAN BIG TOPIC

インターネットに代表される情報ネットワークや情報システムが急速に発展し、企業活動や技術開発は急速にグローバル化・フラット化しています。甲南大学では、時代の変化に積極的に呼応し、変化をリードする知恵と技術を持ち、21世紀社会に貢献する人材を育成することを目的として、「理工学部情報工学システム科」(知能情報学科)を母体に、新学部「知能情報学部」(知能情報学部)を開設することになりました。

「知能情報学部」は、2008年4月開設予定。「情報通信」「人間知」「機械知」に関する3つのコースを設定し、徹底したインテラクティブ(双方)教育によって、本学の教育理念である人物教育を率先し、骨太の人間力と高度なIT技術を兼ね備えた、国際情報化社会で真に力を發揮できるプロフェッショナルを育てます。

KONAN BIG TOPIC
**2008年4月、
知能情報学部を開設予定**

特集 甲南大学の国際化へのチャレンジ
甲南プログレス・プロジェクト

WHAT'S NEW KONAN
 ●新任・退任教員紹介
 ●平成19年度大学役職者一覧
 ●2006年度学位記授与式
 ●2007年度入学宣誓式
 ●留学生の耿碩宇さんが博士号取得
 ●柴田悠貴さんがウィーンオペラ座で社交界デビュー
 ●2007年度「オール甲南の集い」のご案内

Pick up 高・中 Topics
 バスケットボール部・アメリカに遠征しました
 フランス甲南学園トゥレーズだより
 セネガルでの「コナーン」小学校開校を祝って、在日セネガル大使が甲南大学訪問

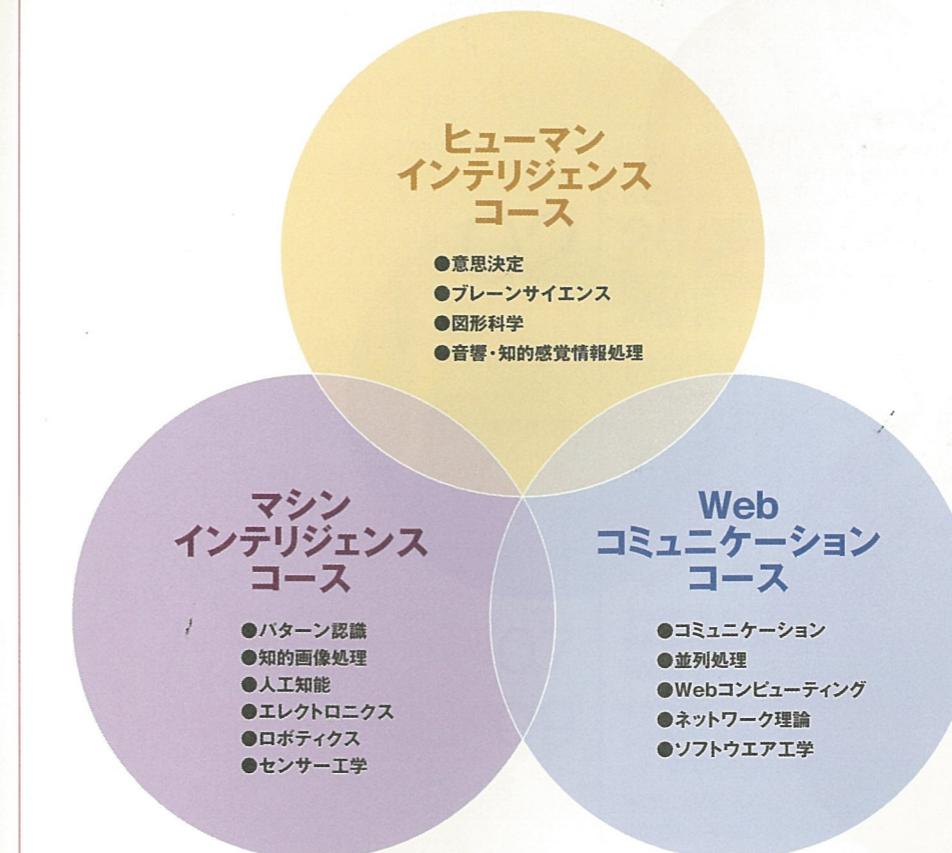
研究室訪問
情報リテラシーが豊かな社会を作る
 学生による学生のための就職活動サポート
 こちら甲南特捜部
甲南大学の留学生たちにインタビューをしてください!

表紙の絵●西井義晃 画
 「平生鉄三郎先生壽像」
 西井義晃さんプロフィール
 1961年 甲南大学経済学部卒業 元自由美術会員

クラブ活動あの日、あのとき
ラグビー部
 南郷茂治氏のこと
 —旧制甲南高等学校ラグビー部長—
 第一線で活躍中の卒業生にアクセス! IT'S KONAN STYLE
がん治療装置の開発と普及に貢献
 甲南フォーラム

「情報通信」「機械の知」「人間の知」 先端3分野が学べます。

ユニークなカリキュラムで
時代のリーダーを育てる



新しい知能情報学部の具体的学問分野は、「情報通信を追究する」Webコミュニケーションコース、「人間知を追究する」ヒューマンインテリジェンスコース、「機械知を探求する」マシンインテリジェンスコースで構成します。「Webコミュニケーションコース」では、Webコミュニケーションの基礎となる知的情報通信ネットワークをはじめ、高性能計算技術や、人と人の関わりの中から創生される知的な活動を解明するネットワーク理論など、情報科学の基礎から最先端技術まで学び、ユビキタス社会において求められるプロフェッショナルを育成します。

「ヒューマンインテリジェンスコース」では、人間の感性がどのように外界をとらえ、知性がどのように情報を処理するのかを研究し、人間にとってより便利で快適なメディアを創成できる人材を育成します。

「マシンインテリジェンスコース」では、知能のはたらきに関する研究を通じて、人の活動をサポートする高度な知能を持つた機械・システムを創造し、ロボット産業分野で活躍できるプロフェッショナルを育成します。

卒業後の進路もさまざま、
幅広い分野で
活躍できる新学部に
期待が高まっています

各コースの卒業後の進路については、「Webコミュニケーションコース」では、Webサービス・アプリケーション・産業や、これらを支える情報通信インフラ産業をはじめ、電機・電子メーカー・ソフトウェア産業など、「ヒューマンインテリジェンスコース」は、視聴覚情報部門、リハビリテーション及び福祉機器開発部門、学習教育機器製造業など、「マシンインテリジェンスコース」は、知能情報分野に関する機械・電機メーカー・電子通信産業、ソフトウェア産業などが挙げられます。

高い専門性と人間力を備えた知能情報学部の卒業生は、今後ますます発展する国際情報化社会をリードする人材として活躍が期待されます。

この3つのコースは、2年次以降興味のあるテーマや将来の希望進路に合わせて、いずれかのコースを選択しますが、各コースに配分されている科目は、他コースの学生も自由に選択することができ、より幅広い学びが可能となります。

また、本学部の目標は、単に技術や知識を修得することではありません。グローバル化する情報環境、人や社会を取り巻く状況の激変に対応し、知的フィールドをリードするための能力を持つ人材こそが目指すべき未来像。コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の養成と、問題解決能力の開発に力を入れた教育を展開します。

甲南大学の国際化へのチャレンジ 甲南プログレス・プロジェクト

KONAN
PROGRESS
PROJECT

31年前から取り組んで来た
甲南大学の国際交流。時代は流れ、
今求められる国際交流を
実現するために、甲南大学では、
2006年から学生を積極的に
海外へ送り出す
「甲南プログレス・プロジェクト」に
取り組んでいます。

学生一人ひとりの目的に
合わせた留学を提供する
甲南プログレス・プロジェクト

「留学に行きたくなる
しかけ」と「行きやすい
仕組み」が充実

国際化を図る
キャンパス内の隅々まで

甲南大学が国際交流に目を向けたのは
1976年、今から31年前のことです。こ
の取り組みのきっかけは、アメリカのイリノイ
大学の人類学者であるブース教授と、
甲南大学の文学部教授である増田教授の
アイデアでスタートしたと聞いています。「大
学の国際交流」というと、今では一般的な
こととして考えられていますが、当時はか
なり先進的な取り組みでした。双方の大
学で留学生を送り出し、受け入れるという
「交換留学」の制度は、甲南大学にとって
は伝統的な取り組みとして定着しました。

この間、イリノイ大学だけでなく、イギリス
のリーズ大学、フランスのリヨン第三大学
など、8カ国14大学との交換留学の協定
を結び、年々、交流は活発になっています。

この10年間で、179名の学生たちが
各国に留学し、すばらしい成果をもって、
帰つきました。卒業後の彼らの活躍ぶり
を耳にするたび、私たちはよろこびを

これまで甲南大学では、年間約20名の
学生を「交換留学生」として海外の協定
校へ送り出してきました。「甲南プログ
レス・プロジェクト」では、1年間に100
名の学生を海外へ送り出すことを目標と
しています。1年間に100名の学生を

留学生を「交換留学生」として海外へ送
り出してきました。「甲南プログレス
・プロジェクト」では、1年間に100
名の学生を海外へ送り出すことを目標と
しています。1年間に100名の学生を

留学生を送り出すだけではなく、海外
からの留学生の受け入れ態勢も充実さ
せなければ充分とはいえないません。これまで
留学は、甲南大学生とは違うクラスで学
んでいましたが、甲南大学生と一緒に座学
の授業を受けられる「ジョイントセミナー」
の開催、「生涯スポーツ」、「第2、第3外
国語の授業」に留学生も参加する機会

かみしめています。
しかし、時代はますます国際化が進ん
でいます。外国語を使って外国体験を積
むことは、大学時代に是非実行すべきこ
とという考え方方が強くなっています。
このような動向に応えようとしたのが「甲
南プログレス・プロジェクト」です。

英語を母語としない国の学生の英語
力を計るTOEFLという試験をクリア一
歩を少しきして学生一人ひとりの目的に
合わせた留学を提供することを目的に
しています。

海外へ送り出すためには、留学へチャレンジ
しやすい仕組みが必要です。そのため、
卒業後の希望や、現在の興味に沿った留
学体験ができる環境を整えました。
さらに、留学中に修得した科目の単位
換算や授業料の減免、学習奨励金をは
じめ留学するためのカウンセリングなど、
バックアップ体制も充実させました。これら
の体制を整えることで、「留学に行きたく
なる仕掛け」と「行きやすい仕組み」が揃つ
たといえます。もちろん今までの交換留
学も、さらにもっとたくさんのお客さんが行け
るようにプログラムを充実させていきます。

留学生を送り出すだけではなく、海外
のチャンスです。一人でも多くの学生が
留学を体験して、将来、眞の国際人とし
て活躍してもらいたいと思います。

甲南大学の国際化へのチャレンジ
甲南プログレス・プロジェクト

海外へ送り出すためには、留学へチャレンジ
しやすい仕組みが必要です。そのため、
卒業後の希望や、現在の興味に沿った留
学体験ができる環境を整えました。
さらに、留学中に修得した科目の単位
換算や授業料の減免、学習奨励金をは
じめ留学するためのカウンセリングなど、
バックアップ体制も充実させました。これら
の体制を整えることで、「留学に行きたく
なる仕掛け」と「行きやすい仕組み」が揃つ
たといえます。もちろん今までの交換留
学も、さらにもっとたくさんのお客さんが行け
るようにプログラムを充実させていきます。

留学生を送り出すだけではなく、海外
のチャンスです。一人でも多くの学生が
留学を体験して、将来、眞の国際人とし
て活躍してもらいたいと思います。

甲南大学の国際化へのチャレンジ
甲南プログレス・プロジェクト

海外へ送り出すためには、留学へチャレンジ
しやすい仕組みが必要です。そのため、
卒業後の希望や、現在の興味に沿った留
学体験ができる環境を整えました。
さらに、留学中に修得した科目の単位
換算や授業料の減免、学習奨励金をは
じめ留学するためのカウンセリングなど、
バックアップ体制も充実させました。これら
の体制を整えることで、「留学に行きたく
なる仕掛け」と「行きやすい仕組み」が揃つ
たといえます。もちろん今までの交換留
学も、さらにっとたくさんのお客さんが行け
るようにプログラムを充実させていきます。

留学生を送り出すだけではなく、海外
のチャンスです。一人でも多くの学生が
留学を体験して、将来、眞の国際人とし
て活躍してもらいたいと思います。

甲南大学の国際化へのチャレンジ
甲南プログレス・プロジェクト

海外へ送り出すためには、留学へチャレンジ
しやすい仕組みが必要です。そのため、
卒業後の希望や、現在の興味に沿った留
学体験ができる環境を整えました。
さらに、留学中に修得した科目の単位
換算や授業料の減免、学習奨励金をは
じめ留学するためのカウンセリングなど、
バックアップ体制も充実させました。これら
の体制を整えることで、「留学に行きたく
なる仕掛け」と「行きやすい仕組み」が揃つ
たといえます。もちろん今までの交換留
学も、さらにっとたくさんのお客さんが行け
ないようにプログラムを充実させていきます。

留学生を送り出すだけではなく、海外
のチャンスです。一人でも多くの学生が
留学を体験して、将来、眞の国際人とし
て活躍してもらいたいと思います。

甲南大学の国際化へのチャレンジ
甲南プログレス・プロジェクト

海外へ送り出すためには、留学へチャレンジ
しやすい仕組みが必要です。そのため、
卒業後の希望や、現在の興味に沿った留
学体験ができる環境を整えました。
さらに、留学中に修得した科目の単位
換算や授業料の減免、学習奨励金をは
じめ留学するためのカウンセリングなど、
バックアップ体制も充実させました。これら
の体制を整えることで、「留学に行きたく
なる仕掛け」と「行きやすい仕組み」が揃つ
たといえます。もちろん今までの交換留
学も、さらにっとたくさんのお客さんが行け
ないようにプログラムを充実させていきます。

留学生を送り出すだけではなく、海外
のチャンスです。一人でも多くの学生が
留学を体験して、将来、眞の国際人とし
て活躍してもらいたいと思います。

甲南大学の国際化へのチャレンジ
甲南プログレス・プロジェクト

海外へ送り出すためには、留学へチャレンジ
しやすい仕組みが必要です。そのため、
卒業後の希望や、現在の興味に沿った留
学体験ができる環境を整えました。
さらに、留学中に修得した科目の単位
換算や授業料の減免、学習奨励金をは
じめ留学するためのカウンセリングなど、
バックアップ体制も充実させました。これら
の体制を整えることで、「留学に行きたく
なる仕掛け」と「行きやすい仕組み」が揃つ
たといえます。もちろん今までの交換留
学も、さらにっとたくさんのお客さんが行け
ないようにプログラムを充実させていきます。

留学生を送り出すだけではなく、海外
のチャンスです。一人でも多くの学生が
留学を体験して、将来、眞の国際人とし
て活躍してもらいたいと思います。

甲南大学の国際化へのチャレンジ
甲南プログレス・プロジェクト

海外へ送り出すためには、留学へチャレンジ
しやすい仕組みが必要です。そのため、
卒業後の希望や、現在の興味に沿った留
学体験ができる環境を整えました。
さらに、留学中に修得した科目の単位
換算や授業料の減免、学習奨励金をは
じめ留学するためのカウンセリングなど、
バックアップ体制も充実させました。これら
の体制を整えることで、「留学に行きたく
なる仕掛け」と「行きやすい仕組み」が揃つ
たといえます。もちろん今までの交換留
学も、さらにっとたくさんのお客さんが行け
ないようにプログラムを充実させていきます。

留学生を送り出すだけではなく、海外
のチャンスです。一人でも多くの学生が
留学を体験して、将来、眞の国際人とし
て活躍してもらいたいと思います。

甲南大学の国際化へのチャレンジ
甲南プログレス・プロジェクト

海外へ送り出すためには、留学へチャレンジ
しやすい仕組みが必要です。そのため、
卒業後の希望や、現在の興味に沿った留
学体験ができる環境を整えました。
さらに、留学中に修得した科目の単位
換算や授業料の減免、学習奨励金をは
じめ留学するためのカウンセリングなど、
バックアップ体制も充実させました。これら
の体制を整えることで、「留学に行きたく
なる仕掛け」と「行きやすい仕組み」が揃つ
たといえます。もちろん今までの交換留
学も、さらにっとたくさんのお客さんが行け
ないようにプログラムを充実させていきます。

留学生を送り出すだけではなく、海外
のチャンスです。一人でも多くの学生が
留学を体験して、将来、眞の国際人とし
て活躍してもらいたいと思います。

甲南大学の国際化へのチャレンジ
甲南プログレス・プロジェクト

海外へ送り出すためには、留学へチャレンジ
しやすい仕組みが必要です。そのため、
卒業後の希望や、現在の興味に沿った留
学体験ができる環境を整えました。
さらに、留学中に修得した科目の単位
換算や授業料の減免、学習奨励金をは
じめ留学するためのカウンセリングなど、
バックアップ体制も充実させました。これら
の体制を整えることで、「留学に行きたく
なる仕掛け」と「行きやすい仕組み」が揃つ
たといえます。もちろん今までの交換留
学も、さらにっとたくさんのお客さんが行け
ないようにプログラムを充実させていきます。

留学生を送り出すだけではなく、海外
のチャンスです。一人でも多くの学生が
留学を体験して、将来、眞の国際人とし
て活躍してもらいたいと思います。

甲南大学の国際化へのチャレンジ
甲南プログレス・プロジェクト

海外へ送り出すためには、留学へチャレンジ
しやすい仕組みが必要です。そのため、
卒業後の希望や、現在の興味に沿った留
学体験ができる環境を整えました。
さらに、留学中に修得した科目の単位
換算や授業料の減免、学習奨励金をは
じめ留学するためのカウンセリングなど、
バックアップ体制も充実させました。これら
の体制を整えることで、「留学に行きたく
なる仕掛け」と「行きやすい仕組み」が揃つ
たといえます。もちろん今までの交換留
学も、さらにっとたくさんのお客さんが行け
ないようにプログラムを充実させていきます。

留学生を送り出すだけではなく、海外
のチャンスです。一人でも多くの学生が
留学を体験して、将来、眞の国際人とし
て活躍してもらいたいと思います。

甲南大学の国際化へのチャレンジ
甲南プログレス・プロジェクト

海外へ送り出すためには、留学へチャレンジ
しやすい仕組みが必要です。そのため、
卒業後の希望や、現在の興味に沿った留
学体験ができる環境を整えました。
さらに、留学中に修得した科目の単位
換算や授業料の減免、学習奨励金をは
じめ留学するためのカウンセリングなど、
バックアップ体制も充実させました。これら
の体制を整えることで、「留学に行きたく
なる仕掛け」と「行きやすい仕組み」が揃つ
たといえます。もちろん今までの交換留
学も、さらにっとたくさんのお客さんが行け
ないようにプログラムを充実させていきます。

留学生を送り出すだけではなく、海外
のチャンスです。一人でも多くの学生が
留学を体験して、将来、眞の国際人とし
て活躍してもらいたいと思います。

甲南大学の国際化へのチャレンジ
甲南プログレス・プロジェクト

海外へ送り出すためには、留学へチャレンジ
しやすい仕組みが必要です。そのため、
卒業後の希望や、現在の興味に沿った留
学体験ができる環境を整えました。
さらに、留学中に修得した科目の単位
換算や授業料の減免、学習奨励金をは
じめ留学するためのカウンセリングなど、
バックアップ体制も充実させました。これら
の体制を整えることで、「留学に行きたく
なる仕掛け」と「行きやすい仕組み」が揃つ
たといえます。もちろん今までの交換留
学も、さらにっとたくさんのお客さんが行け
ないようにプログラムを充実させていきます。

留学生を送り出すだけではなく、海外
のチャンスです。一人でも多くの学生が
留学を体験して、将来、眞の国際人とし
て活躍してもらいたいと思います。

甲南大学の国際化へのチャレンジ
甲南プログレス・プロジェクト

海外へ送り出すためには、留学へチャレンジ
しやすい仕組みが必要です。そのため、
卒業後の希望や、現在の興味に沿った留
学体験ができる環境を整えました。
さらに、留学中に修得した科目の単位
換算や授業料の減免、学習奨励金をは
じめ留学するためのカウンセリングなど、
バックアップ体制も充実させました。これら
の体制を整えることで、「留学に行きたく
なる仕掛け」と「行きやすい仕組み」が揃つ
たといえます。もちろん今までの交換留
学も、さらにっとたくさんのお客さんが行け
ないようにプログラムを充実させていきます。

留学生を送り出すだけではなく、海外
のチャンスです。一人でも多くの学生が
留学を体験して、将来、眞の国際人とし
て活躍してもらいたいと思います。

甲南大学の国際化へのチャレンジ
甲南プログレス・プロジェクト

海外へ送り出すためには、留学へチャレンジ
しやすい仕組みが必要です。そのため、
卒業後の希望や、現在の興味に沿った留
学体験ができる環境を整えました。
さらに、留学中に修得した科目の単位
換算や授業料の減免、学習奨励金をは
じめ留学するためのカウンセリングなど、
バックアップ体制も充実させました。これら
の体制を整えることで、「留学に行きたく
なる仕掛け」と「行きやすい仕組み」が揃つ
たといえます。もちろん今までの交換留
学も、さらにっとたくさんのお客さんが行け
ないようにプログラムを充実させていきます。

留学生を送り出すだけではなく、海外
のチャンスです。一人でも多くの学生が
留学を体験して、将来、眞の国際人とし
て活躍してもらいたいと思います。

甲南大学の国際化へのチャレンジ
甲南プログレス・プロジェクト

海外へ送り出すためには、留学へチャレンジ
しやすい仕組みが必要です。そのため、
卒業後の希望や、現在の興味に沿った留
学体験ができる環境を整えました。
さらに、留学中に修得した科目の単位
換算や授業料の減免、学習奨励金をは
じめ留学するためのカウンセリングなど、
バックアップ体制も充実させました。これら
の体制を整えることで、「留学に行きたく
なる仕掛け」と「行きやすい仕組み」が揃つ
たといえます。もちろん今までの交換留
学も、さらにっとたくさんのお客さんが行け
ないようにプログラムを充実させていきます。

留学生を送り出すだけではなく、海外
のチャンスです。一人でも多くの学生が
留学を体験して、将来、眞の国際人とし
て活躍してもらいたいと思います。

海外でのさまざまな体験は、予想をはるかに
超えた宝物となって学生たちの未来を彩ります。
留学体験者2人と、これから留学に行く
学生2人にインタビューしました。

留学が私を変えた！



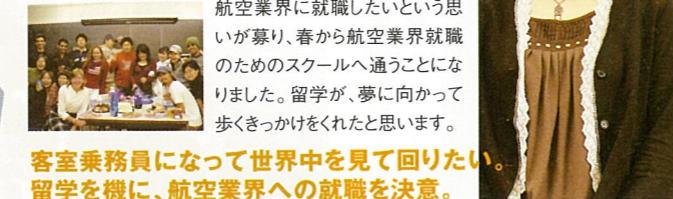
留学行ったのは、語学力をもっと高めたかったからです。留学中は、12時に大学へ行き、1時から5時まで授業を受け、帰宅後は毎日、夜中の2時頃まで宿題や予習をしていました。クラスは14人の少人数で必ず発言しなければならず、予習が不充分なままでは授業には出られませんでした。そのお陰で、語学力は留学前と後では格段に差ができました。留学中、最も心に残ったできごとは、風邪をひいてしまい、クリニックに1人で行ったことです。とても緊張しましたが、その経験から「やればできる」という自信がつきました。また、世界中の人と知り合いになれることで、いろんな価値観があることも知りました。帰国後、将来は海外で勉強して、海外で就職をしたいと思うようになりました。留学することによって私は自分の夢を確信しました。



留学することで自分の夢を確信。
将来は海外の大学に進み、就職したい！

もともと英語が好きで、小学生の頃から英語を学んでいました。出発前は、語学に関しては大きな不安はありませんでしたが、海外での暮らしは初めての体験だったので、環境に順応できるかどうかが気になっていました。でも、実際に行ってみるとクラスの人たちと仲良くなことができ、頭で考えても仕がないことが多いことがわかりました。また、イリノイ大学と甲南大学が常に連絡を取り合っているということが、大きな安心につながりました。留学中、クラスメイトと話をしているだけで、文化や価値観の違いがあることを痛感し、世界中を見て回りたいという気持ちになりました。そのため、航空業界に就職したいという思いが募り、春から航空業界就職のためのスクールへ通うことになりました。留学が、夢に向かって歩くきっかけをくれたと思います。

経営学部3年
山本夕貴さん
イリノイ大学（2006年8月～12月）



客室乗務員になって世界中を見て回りたい。
留学を機に、航空業界への就職を決意。



留学行ったのは、語学力をもっと高めたかったからです。留学中は、12時に大学へ行き、1時から5時まで授業を受け、帰宅後は毎日、夜中の2時頃まで宿題や予習をしていました。クラスは14人の少人数で必ず発言しなければならず、予習が不充分なままでは授業には出られませんでした。そのお陰で、語学力は留学前と後では格段に差ができました。留学中、最も心に残ったできごとは、風邪をひいてしまい、クリニックに1人で行ったことです。とても緊張しましたが、その経験から「やればできる」という自信がつきました。また、世界中の人と知り合いになれることで、いろんな価値観があることも知りました。帰国後、将来は海外で勉強して、海外で就職をしたいと思うようになりました。留学することによって私は自分の夢を確信しました。



留学することで自分の夢を確信。
将来は海外の大学に進み、就職したい！

留学で私が変わる！

経済学部3年
岸本慎平くん
ピクトリア大学（2007年4月～7月）



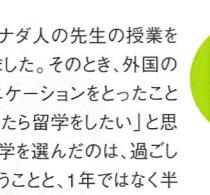
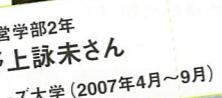
中学校のときに、カナダ人の先生の授業を受ける機会がありました。そのとき、外国人と一緒に初めてコミュニケーションをとったことがとても新鮮で、「大学生になら留学をしたい」と思うようになりました。ピクトリア大学を選んだのは、過ごしやすい気候に恵まれているということと、1年ではなく半期留学ができるからです。両親と、「大学は4年で卒業する」と約束している私にとって、1年間の留学は少し長いので半期留学を選びました。また、留学に関する大学からのサポートは、充実したオリエンテーション、単位認定、英語講座の実施、学習奨励金などたくさんあり、私の留学への決意がさらに固まりました。出発を目前にした今、勉強はもちろん、友人をたくさんつけて観光にも行き、見聞を広げたいと思っています。



大学の留学サポートシステムが
留学を決意させてくれました。



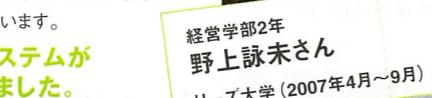
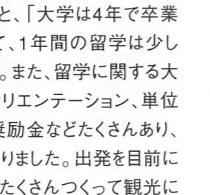
憧れのイギリスへの留学。
一回りも二回りも成長して帰ってきます。



高校生のとき、オーストラリアに短期留学をしました。ところが語学力が伴わなくて、思っていることを相手に伝えることができず、「きちんと英語が話せるようになりたい」と思い、その後、英語の学習に力を入れてきました。リーズ大学を選んだのは、昔からイギリスに憧れているということと、リーズ大学はアジアからの留学生だけでなく、世界中から留学生を受け入れていると聞いたからです。留学を決めてから、大学が留学決定者へのサポートとして行っている語学と文化に関する講座を受けています。先生から、あじさいーむに行き、留学生と話をするよう勧められました。すぐにでも行って、留学生と友だちになり、リスニングとスピーキングの練習をしたいと思っています。留学への抱負は、何事にも積極的に取り組み、サークル活動もして、友だちをたくさんつくること。留学を機に、一回りも二回りも成長して帰ってきます。



大学の留学サポートシステムが
留学を決意させてくれました。



2007年春 半期および1年間の留学生23名が決定しました

*23名の所属学部は、文学部11名、経済学部6名、経営学部6名となっています

半期 カナダ ピクトリア大学 [English Language Centre]
2007年4月2日～7月25日(12名)

イギリス リーズ大学 [Language Centre]
2007年4月2日～9月21日(8名)

1年 カナダ ダグラス・カレッジ
2007年5月3日～2008年5月2日(2名)

イギリス バース・スパ大学
2007年4月2日～2008年2月15日(1名)

Topics



さまざまな目的に合わせた
留学スタイルを提案

「甲南プログレス・プロジェクト」を推進するにあたって、私たちが最初に考えたことがあります。それは「特別なこととして捉えられるがちな留学を、どのようにすれば学生たちに身近なこととして感じられるか」ということです。その手始めとして、留学をすることで、どのような体験ができるかなどを明確にしてみました。

留学を実現させる新たな取り組み

小西幸男
甲南大学国際交流センター
専任講師（留学カウンセラー）



例えば、留学をしたいと考える学生が必ずしも、海外の大学院へ進学したいと考えているわけではないのが現状です。そこで、「海外の大学院への進学」「国際的な職場への就職」「海外でのさまざまな体験を通じたキャリア設計」「国際感覚の養成」と、留学することで得られる4つの方向性を想定してみました。この想定に基づいた「甲南プログレス・プロジェクト」は、留学に関するさまざまな目標に対応して柔軟に対応できるよう設定されています。

例えば、留学期間は、大きくわけて1年間と半期があります。半期の留学としては、1年間選択肢を増やした理由としては、1年間の留学は「4年間で大学を卒業したいが、留学もしたい」という学生に対して大きなハードルとなっていたことが挙げられます。

半期の3ヵ月から6ヵ月留学は前期もしくは後期のどちらかで留学できるよう考査されています。これにより、学生一人ひとりの希望と、学修計画に合わせて出発時期と留学期間が選べるようになりました。

さらに、出発前に「留学直前の英語講座」や「異文化理解」のための学習会を開催することでサポートを充実させています。

万全のバックアップ体制で安心して海外へ

留学に関するバックアップ体制についてご説明します。主なバックアップ体制としては、万全な英語力を養成し、学生の留学を推進するために国際言語文化センターより「留学のための英語集中コース」を設けています。また、「留学中に修得した科目の単位換算」や「授業料の減免」「学習奨励金」が挙げられます。

留学に関するバックアップ体制についてご説明します。主なバックアップ体制としては、万全な英語力を養成し、学生の留学を推進するために国際言語文化センターより「留学のための英語集中コース」を設けています。また、「留学中に修得した科目の単位換算」や「授業料の減免」「学習奨励金」が挙げられます。

留学生のとき、オーストラリアに短期留学をしました。ところが語学力が伴わなくて、思っていることを相手に伝えることができず、「きちんと英語が話せるようになりたい」と思い、その後、英語の学習に力を入れてきました。リーズ大学を選んだのは、昔からイギリスに憧れているということと、リーズ大学はアジアからの留学生だけでなく、世界中から留学生を受け入れていると聞いたからです。留学を決めてから、大学が留学決定者へのサポートとして行っている語学と文化に関する講座を受けています。先生から、あじさいーむに行き、留学生と話をするよう勧められました。すぐにでも行って、留学生と友だちになり、リスニングとスピーキングの練習をしたいと思っています。留学への抱負は、何事にも積極的に取り組み、サークル活動もして、友だちをたくさんつくること。留学を機に、一回りも二回りも成長して帰ってきます。

甲南大学の海外協定校一覧

- トゥール大学（フランス）
- リヨン第三大学（フランス）
- ベルリン・フンボルト大学（ドイツ）
- ライプツィヒ大学（ドイツ）
- 西北大学（中国）
- 漢陽大学校（韓国）
- マードック大学（オーストラリア）
- リーズ大学（イギリス）
- バース・スパ大学（イギリス）
- イリノイ大学 アーバナ・シャンペーン校（アメリカ）
- ニューヨーク州立大学 バッファロー校（アメリカ）
- ピクトリア大学（カナダ）
- カールトン大学（カナダ）
- ダグラス・カレッジ（カナダ）
- バース・スパ大学（イギリス）

海外留学の実現へ

KONAN PROGRESS PROJECT

将来、
海外の大学院へ
進学したい

将来、
国際的な職場へ
就職したい

海外で
様々な体験が
したい

「単位の換算」は、留学先の大学で履修した授業科目を、審議の上学部の専門教育科目的単位として認定します。

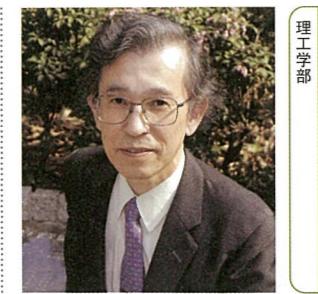
留学期間中の授業料は大幅に减免され、半期は15万円、1年は30万円となり、さらに「学習奨励金」は、半期留学の場合は5万円、1年間の留学の場合は10万円が支給されます。

また、大学の事務局が相互に連絡を取り合い、常に留学生の様子を把握しています。時には、学生に直接、連絡を取り、アドバイスすることもあります。

留学に憧れを抱いている学生から、「留学をすると就職にどのようなメリットがあるのか」という質問を受けることがあります。私自身の体験と、これまで留学を体験した学生たちの例からわかることは、「海外でさまざまな人と出会い、いろいろな体験をすることで夢が広がり、何事にも意欲的になる」「海外の文化に触れたことで自立心や社交性が身につく」「自己アピールが上手になる」といったポジティブな変化が挙げられます。実際に、留学から帰って来た学生たちは、イキイキとキャンパスライフを謳歌するようになります。「留学をして人生観が変わった」と語ります。

留学生のとき、オーストラリアに短期留学をしました。ところが語学力が伴わなくて、思っていることを相手に伝えることができず、「きちんと英語が話せるようになりたい」と思い、その後、英語の学習に力を入れてきました。リーズ大学を選んだのは、昔からイギリスに憧れているということと、リーズ大学はアジアからの留学生だけでなく、世界中から留学生を受け入れていると聞いたからです。留学を決めてから、大学が留学決定者へのサポートとして行っている語学と文化に関する講座を受けています。先生から、あじさいーむに行き、留学生と話をするよう勧められました。すぐにでも行って、留学生と友だちになり、リスニングとスピーキングの練習をしたいと思っています。留学への抱負は、何事にも積極的に取り組み、サークル活動もして、友だちをたくさんつくること。留学を機に、一回りも二回りも成長して帰ってきます。

留学生のとき、オーストラリアに短期留学をしました。ところが語学力が伴わなくて、思っていることを相手に伝えることができず、「きちんと英語が話せるようになりたい」と思い、その後、英語の学習に力を

理工学部
坂田 通徳 教授理工学部
山本 嘉昭 教授

甲南大学は山の薰気と自由の香り漂う大学です。そこでの39年間は幸せでした。乗鞍岳、チベット、個性溢れる学生の皆さんと共に宇宙線の研究を広げてきました。大変でしたが、懐かしさで一杯です。今後、すべての学生へ平生精神が豊かに行きわたり、とお祈りいたします。

甲南大学に40年間も居座っていたのは、この大学の自由な雰囲気が好きだったからです。学生は人付き合いのうまい大人が多く、大学院生は研究仲間そのものでした。甲南大学の良き伝統が、ますます発展してゆくことを願っています。

高等学校・中学校
濱政 博司 教諭法科大学院
神山 敏雄 特命教授

37年甲南に奉職致しました。子ども達から元気をもらいつつ、時には叱咤しながらの毎日でした。ふと気付くと、血压も高く体調不良の白頭の翁になりました。「ひいき目に見てさえ寒し吾が姿」の心境に至り、退職を決めました。お世話になつた諸先輩、御同僚方に感謝の念しきります。

他大学定年退官後、法学部及び法科大学院で計7年間教鞭を執ることができましたことを学園関係者に対し心から謝意を表します。当大学は、少數精銳主義を貫く上での教職員・学生の人的資源に恵まれ飛躍的発展が期待されます。関係者のご尽力を念じています。

カウンセリングルーム長
学生相談室長(兼務)
企業法務研究所所長
ビジネス・イベーション研究所所長
サイバーライブリーセンター所長(兼務)
総合研究所所長
人間科学研究所所長
先端生命工学研究所所長
国際交流センター所長
フロンティア研究推進機構長
情報教育研究センター所長
地域副専攻センター所長
社会科学研究科長
人文科学研究科長
自然科学研究科長
EBA高等教育研究所所長
会計大学院長
法科大学院長
経営学部長
法学部長
理工学部長
文学部長
副学長
学長

甲南大学で20年間を過ごしましたが、在学生・卒業生の皆さんから教えられ、たくさんの元気を貰いました。学生には、我々教員の尺度で測りきれない素晴らしい素質と才能があります。教育者自身の教育を考えさせられました。在学生・卒業生の皆さん、ありがとうございます。

平成18年度退任教員紹介

長い間にわたり、学生たちの知を育んできた6人の退任教員を紹介いたします。

長い間ありがとうございました。

ありがとうございました。

甲南大学は山の薰気と自由の香り漂う大学です。そこでの39年間は幸せでした。乗鞍岳、チベット、個性溢れる学生の皆さんと共に宇宙線の研究を広げてきました。大変でしたが、懐かしさで一杯です。今後、すべての学生へ平生精神が豊かに行きわたり、とお祈りいたします。

甲南大学に40年間も居座っていたのは、この大学の自由な雰囲気が好きだったからです。学生は人付き合いのうまい大人が多く、大学院生は研究仲間そのものでした。甲南大学の良き伝統が、ますます発展してゆくことを願っています。

高等学校・中学校
濱政 博司 教諭法科大学院
神山 敏雄 特命教授

37年甲南に奉職致しました。子ども達から元気をもらいつつ、時には叱咤しながらの毎日でした。ふと気付くと、血压も高く体調不良の白頭の翁になりました。「ひいき目に見てさえ寒し吾が姿」の心境に至り、退職を決めました。お世話になつた諸先輩、御同僚方に感謝の念しきります。

他大学定年退官後、法学部及び法科大学院で計7年間教鞭を執ることができましたことを学園関係者に対し心から謝意を表します。当大学は、少數精銳主義を貫く上での教職員・学生の人的資源に恵まれ飛躍的発展が期待されます。関係者のご尽力を念じています。

カウンセリングルーム長
学生相談室長(兼務)
企業法務研究所所長
ビジネス・イベーション研究所所長
サイバーライブリーセンター所長(兼務)
総合研究所所長
人間科学研究所所長
先端生命工学研究所所長
国際交流センター所長
フロンティア研究推進機構長
情報教育研究センター所長
地域副専攻センター所長
社会科学研究科長
人文科学研究科長
EBA高等教育研究所所長
会計大学院長
法科大学院長
経営学部長
法学部長
理工学部長
文学部長
副学長
学長

甲南大学で20年間を過ごしましたが、在学生・卒業生の皆さんから教えられ、たくさんの元気を貰いました。学生には、我々教員の尺度で測りきれない素晴らしい素質と才能があります。教育者自身の教育を考えさせられました。在学生・卒業生の皆さん、ありがとうございます。

平成19年度新任教員紹介

長い間にわたり、学生たちの知を育んできた6人の退任教員を紹介いたします。

長い間ありがとうございました。

ありがとうございました。

甲南大学は山の薰気と自由の香り漂う大学です。そこでの39年間は幸せでした。乗鞍岳、チベット、個性溢れる学生の皆さんと共に宇宙線の研究を広げてきました。大変でしたが、懐かしさで一杯です。今後、すべての学生へ平生精神が豊かに行きわたり、とお祈りいたします。

甲南大学に40年間も居座っていたのは、この大学の自由な雰囲気が好きだったからです。学生は人付き合いのうまい大人が多く、大学院生は研究仲間そのものでした。甲南大学の良き伝統が、ますます発展してゆくことを願っています。

高等学校・中学校
濱政 博司 教諭法科大学院
神山 敏雄 特命教授

37年甲南に奉職致しました。子ども達から元気をもらいつつ、時には叱咤しながらの毎日でした。ふと気付くと、血压も高く体調不良の白頭の翁になりました。「ひいき目に見てさえ寒し吾が姿」の心境に至り、退職を決めました。お世話になつた諸先輩、御同僚方に感謝の念しきります。

他大学定年退官後、法学部及び法科大学院で計7年間教鞭を執ることができましたことを学園関係者に対し心から謝意を表します。当大学は、少數精銳主義を貫く上での教職員・学生の人的資源に恵まれ飛躍的発展が期待されます。関係者のご尽力を念じています。

カウンセリングルーム長
学生相談室長(兼務)
企業法務研究所所長
ビジネス・イベーション研究所所長
サイバーライブリーセンター所長(兼務)
総合研究所所長
人間科学研究所所長
先端生命工学研究所所長
国際交流センター所長
フロンティア研究推進機構長
情報教育研究センター所長
地域副専攻センター所長
社会科学研究科長
人文科学研究科長
EBA高等教育研究所所長
会計大学院長
法科大学院長
経営学部長
法学部長
理工学部長
文学部長
副学長
学長

甲南大学で20年間を過ごしましたが、在学生・卒業生の皆さんから教えられ、たくさんの元気を貰いました。学生には、我々教員の尺度で測りきれない素晴らしい素質と才能があります。教育者自身の教育を考えさせられました。在学生・卒業生の皆さん、ありがとうございます。

平成19年度大学役職者一覧

役職名	氏名	所属
学長	杉村 芳美	経営学部
副学長	西村 義孝	文学部
文学部長	稻田 弘明	経営学部
理工学部長	安藤 義久	文学部
経営学部長	小谷 博泰	経営学部
法学部長	河崎 照行	法科大学院
法科大学院長	渡辺 顕修	法科大学院
経営学部長	中井伊都子	法科大学院
会計大学院長	稻田 義久	法科大学院
法科大学院長	伊豫田 隆俊	法科大学院
理工学部長	前田 忠弘	法科大学院
経営学部長	永廣 顯	法科大学院
法学部長	松本 茂樹	法科大学院
文学部長	宮澤 敏文	法科大学院
自然科学研究科長	稻田 雄一	法科大学院
人文科学研究科長	吉川 歩	法科大学院
社会科学研究科長	廣山 謙介	法科大学院
地域副専攻センター所長	長坂 悅敬	法科大学院
情報教育研究センター所長	水野 直己	法科大学院
人間科学研究所所長	森 健一	法科大学院
先端生命工学研究所所長	都染 直也	法科大学院
国際交流センター所長	松本 兼彬	法科大学院
フロンティア研究推進機構長	有村 善啓	法科大学院
総合研究所所長	中田 善也	法科大学院
人間科学研究所所長	カウンセリングセンター所長(兼務)	法科大学院
先端生命工学研究所所長	カウンセリングセンター所長(兼務)	法科大学院
国際交流センター所長	カウンセリングセンター所長(兼務)	法科大学院
フロンティア研究推進機構長	横山 博	法科大学院
総合研究所所長	水野 健一	法科大学院
人間科学研究所所長	根岸 哲	法科大学院
先端生命工学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
国際交流センター所長	山本 嘉昭	法科大学院
フロンティア研究推進機構長	坂田 通徳	法科大学院
総合研究所所長	山本 嘉昭	法科大学院
人間科学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
先端生命工学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
国際交流センター所長	坂田 通徳	法科大学院
フロンティア研究推進機構長	坂田 通徳	法科大学院
総合研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
人間科学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
先端生命工学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
国際交流センター所長	坂田 通徳	法科大学院
フロンティア研究推進機構長	坂田 通徳	法科大学院
総合研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
人間科学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
先端生命工学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
国際交流センター所長	坂田 通徳	法科大学院
フロンティア研究推進機構長	坂田 通徳	法科大学院
総合研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
人間科学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
先端生命工学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
国際交流センター所長	坂田 通徳	法科大学院
フロンティア研究推進機構長	坂田 通徳	法科大学院
総合研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
人間科学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
先端生命工学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
国際交流センター所長	坂田 通徳	法科大学院
フロンティア研究推進機構長	坂田 通徳	法科大学院
総合研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
人間科学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
先端生命工学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
国際交流センター所長	坂田 通徳	法科大学院
フロンティア研究推進機構長	坂田 通徳	法科大学院
総合研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
人間科学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
先端生命工学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
国際交流センター所長	坂田 通徳	法科大学院
フロンティア研究推進機構長	坂田 通徳	法科大学院
総合研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
人間科学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
先端生命工学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
国際交流センター所長	坂田 通徳	法科大学院
フロンティア研究推進機構長	坂田 通徳	法科大学院
総合研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
人間科学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
先端生命工学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
国際交流センター所長	坂田 通徳	法科大学院
フロンティア研究推進機構長	坂田 通徳	法科大学院
総合研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
人間科学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
先端生命工学研究所所長	坂田 通徳	法科大学院
国際交流センター所長	坂田 通徳	法科大学院
フロンティア研究推進機構長		

2007年度

オール甲南集いのご案内

甲友ファミリーの あなたとつくる 年に一度の大同窓会

卒業生、在校生、父母の皆さま、またそのご家族まで、甲友ファミリーが集い、仲間や先生との再会、現役各クラブのパフォーマンスなどを楽しむ毎年恒例の催し「オール甲南の集い」を5月27日(日)に開催します。今回は、過ごしやすい季節の開催としました。ご家族ご友人とお誘い合わせてご参加いただき、甲友の絆を深めてください。

PROGRAM

講演会 [12:30~14:00]

講師:神田 紫氏 (神戸市出身の女流講談師)
環境講談「もったいない善兵衛」/5号館511教室

オール甲南夢舞台 [14:00~17:00]

OBと現役のジョイントコンサート/甲友会館大ホール
同窓会:ハワイアンバンド「アロハスティングスターズ」、ラテンミュージック「Asa festoon」、甲南中高プラスアンサンブル
現役出演予定:グリークラブ、女声合唱団アモローズ、JAZZ研究会、吹奏楽部、チアリーディング部

憩いの広場 [12:00~16:00]

お茶会・華展・料理コーナーを企画
/10号館1階ラウンジ

ミニサッカー大会 [9:30~16:00]

親子でフットサル。飛び入り大歓迎
/講堂兼体育館

お祭り広場 [12:00~16:30]

バルーンアートづくり+フロッグ西嶋氏による似顔絵
/5号館1階

キッズランド [12:00~16:30]

子どもの遊びがいっぱい!/10号館1012号教室

模擬店 [12:00~16:00]

軽食、ビール、綿菓子、スナック類などをご用意
/屋外(3号館前)*雨天の場合:食堂2階予定

物産展 [12:00~16:00]

卒業生が経営する企業や商店の物産を販売
/屋外(1・3号館前)*雨天の場合:3号館ロビー予定

5/27

日 場所:岡本キャンパス



甲友ファミリーの あなたとつくる 年に一度の大同窓会

卒業生、在校生、父母の皆さま、またそのご家族まで、甲友ファミリーが集い、仲間や先生との再会、現役各クラブのパフォーマンスなどを楽しむ毎年恒例の催し「オール甲南の集い」を5月27日(日)に開催します。今回は、過ごしやすい季節の開催としました。ご家族ご友人とお誘い合わせてご参加いただき、甲友の絆を深めてください。

PROGRAM

講演会 [12:30~14:00]

講師:神田 紫氏 (神戸市出身の女流講談師)
環境講談「もったいない善兵衛」/5号館511教室

オール甲南夢舞台 [14:00~17:00]

OBと現役のジョイントコンサート/甲友会館大ホール
同窓会:ハワイアンバンド「アロハスティングスターズ」、ラテンミュージック「Asa festoon」、甲南中高プラスアンサンブル
現役出演予定:グリークラブ、女声合唱団アモローズ、JAZZ研究会、吹奏楽部、チアリーディング部

憩いの広場 [12:00~16:00]

お茶会・華展・料理コーナーを企画
/10号館1階ラウンジ

ミニサッカー大会 [9:30~16:00]

親子でフットサル。飛び入り大歓迎
/講堂兼体育館

お祭り広場 [12:00~16:30]

バルーンアートづくり+フロッグ西嶋氏による似顔絵
/5号館1階

キッズランド [12:00~16:30]

子どもの遊びがいっぱい!/10号館1012号教室

模擬店 [12:00~16:00]

軽食、ビール、綿菓子、スナック類などをご用意
/屋外(3号館前)*雨天の場合:食堂2階予定

物産展 [12:00~16:00]

卒業生が経営する企業や商店の物産を販売
/屋外(1・3号館前)*雨天の場合:3号館ロビー予定

申込み・問い合わせ先 TEL 078-435-2314/FAX 078-435-2546

SHINENKONAN

2006年度 学位記授与式



3月24日(土)、講堂兼体育館と

甲友会館大ホールにおいて、2006年度学位記授与式(卒業式)が行われ、

大学卒業生1889名、大学院修了者134名に学位記が授与され

ました。また、自治会活動スポーツ、文化活動などの正課以外の学生生

の名譽を高めた学生に学長表彰が行されました。当日は、あいにくの

雨模様にもかかわらず、式終了後景も見られました。なお、甲

南高等学校は2月16日(金)、トウレース甲南学園は3月1日(木)に卒業式を行いました。

はゼミや学部で卒業セレブションも行われ、キャンパスのあちこちで友人たちと記念写真を楽しむ光

景も見られました。な、甲

南高等学校は2月16日(金)、トウ



3月20日、在日セネガル大使が 甲南大学訪問

セネガルでの「コナン」小学校開校を祝つて

本誌25号でお伝えしたとおり、フランス甲南学園トゥレーヌ高等部・中等部では、和太鼓部主催のチャリティコンサートの収益金をセネガル共和国に贈呈するなど、積極的にセネガル支援活動に取り組んできました。

昨年より取り組んできた支援活動の結果、この度セネガル・クサンナル市に「エコール・コナン・ド・トゥレーヌ」と名付けられた小学校が誕生し、去る1月13日(土)、現地にて開校式が行われました。

当日は、田中校長をはじめ本校ボランティア生10名なども参列し、当地の名士たちの列席のもと、約2時間にわたる盛大な式典が催されました。

この活動は、地元サンシール市からだけでなく、在セネガル大使館なども参列し、当地の名士たちの列席のもと、約2時間にわたる盛大な式典が催されました。

「昨年より取り組んできた支援活動の結果、この度セネガル・クサンナル市に「エコール・コナン・ド・トゥレーヌ」と名付けられた小学校が誕生し、去る1月13日(土)、現地にて開校式が行われました。

当日は、田中校長をはじめ本校ボランティア生10名なども参列し、当地の名士たちの列席のもと、約2時間にわたる盛大な式典が催されました。

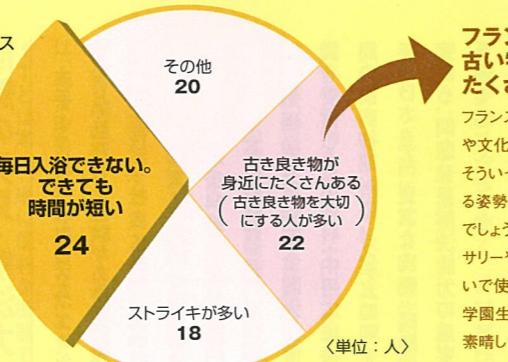
この活動は、地元サンシール市からだけでなく、在セネガル大使館なども参列し、当地の名士たちの列席のもと、約2時間にわたる盛大な式典が催されました。

フランス甲南学園トゥレーヌ
新校長に、横山理氏

日本とフランスの暮らしで、
大きな違いを感じることは?

トゥレーヌからBonjour!

日本とはまったく違う文化を持つフランスにあるフランス甲南学園トゥレーヌで留学生生活を送っている高、生中には、「日本とフランスの暮らしの中で、大きな違いを感じることは?」というアンケートを行った結果、右のような回答が返ってきました。
(複数回答有り)



平成19年度より、横山理氏が第9代校長として就任します。なお、就任のご挨拶は、次号「甲南Todday」(9月下旬発行予定)にて、掲載する予定です。

P I C K U P



バスケットボール部

アメリカに遠征しました

アメリカの高校生と触れ合うことができただけでなく、本場のバスケットボールの試合を間近にみることができ、感動しました。さすがに本場というだけあって、試合会場の設備が充実していることにも驚きました。

バスケットボール部キャプテン
甲南高等学校2年
山林正和君



親善試合では、体格の違いを痛感し、日本人にしかできない試合運びがあるのではないかと思いました。8日間、とても楽しくて、留学に興味が湧き、いつかは留学してみたいと思っています。

甲南高等学校1年
新井俊喜君



飛行機に初めて乗りました! 英語はもともと得意だったのですが、会話のスピードが速いので、ヒアリングをもっと勉強しようと思いました。また、NBAを観戦して、凄い迫力に圧倒されました。

甲南中学校3年
野村卓矢君



親善試合では、体格の違いを痛感し、日本人にしかできない試合運びがあるのではないかと思いました。8日間、とても楽しくて、留学に興味が湧き、いつかは留学してみたいと思っています。

甲南中学校1年
新井俊喜君



親善試合では、体格の違いを痛感し、日本人にしかできない試合運びがあるのではないかと思いました。8日間、とても楽しくて、留学に興味が湧き、いつかは留学してみたいと思っています。

バスケットボール部キャプテン
甲南高等学校2年
山林正和君

参加したのはバスケットボール部顧問の先生とコーチの方々、部員の中3生10人、高1生8人、高2生5人です。遠征先では、高校の授業見学をはじめ、高校主催のハロウィーンパーティーへの参加、バスケットボール部の練習見学や大学対抗試合及びNBA観戦、親善試合、シカゴ観光など、バスケットボールに関する事柄をメインに、盛りだくさんの内容となりました。

親善試合を行ったのは10月30日。甲南中学校チームの対戦相手は、ユニバーサル高校の卒業生チームと地元高校のチーム。勝敗ではなく、部員全員参加を目標とした親善試合は、終始、和やかな雰囲気に包まれました。

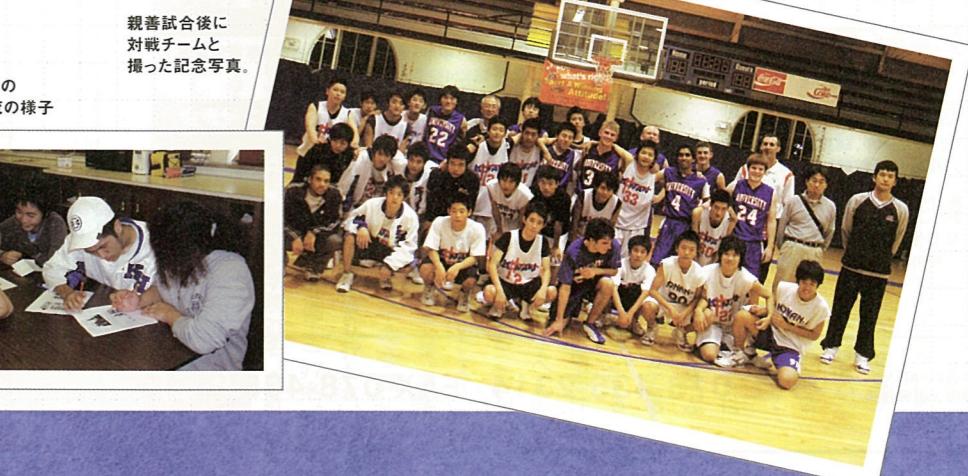
11月1日には、イリノイ大学対ルイス大学の対抗試合を観戦しました。迫力のある試合を見ることができ、部員たちは興奮を抑えることができない様子でした。

また、11月3日にはNBAを観戦。NBAは、バスケットボールの本場アメリカ

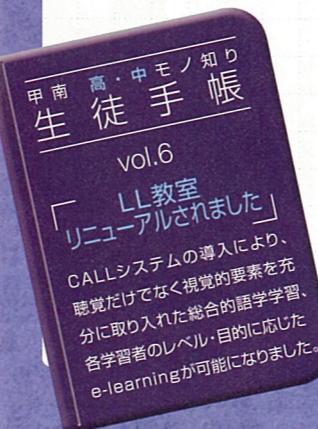
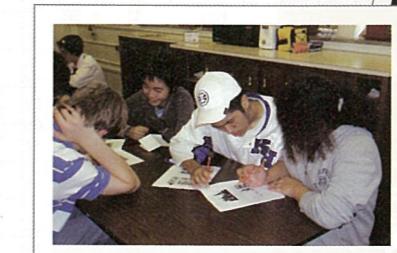


数学科教諭
バスケットボール部顧問
堀本圭右先生
(つかもと けいすけ)

アメリカはバスケットボールの本場です。大学対抗試合観戦やNBA観戦など、部員にとって生涯忘れられない体験となったと思います。また、授業見学では、アメリカの高校生がいかに熱心に勉強に取り組んでいるかに触れることができたことも良かったと思います。今後、海外遠征は数年ごとにい、部員全員が一度は体験できるようにできればと考えています



ユニハイ高校の授業での交流の様子



CALLシステムの導入により、聴覚だけでなく視覚的要素を充分に取り入れた総合的語学学習、各学習者のレベル・目的に応じたe-learningが可能になりました。

甲南中学校、高等学校バスケットボール部が、2006年10月29日から11月5日まで、甲南大学と甲南高等学校が姉妹校提携をしているイリノイ大学附属高校(ユニハイ高校)へ、遠征を行いました。

参加したのはバスケットボール部顧問の先生とコーチの方々、部員の中3生10人、高1生8人、高2生5人です。

遠征先では、高校の授業見学をはじめ、高校主催のハロウィーンパーティーへの参加、バスケットボール部の練習見学や大学対抗試合及びNBA観戦、親善試合、シカゴ観光など、バスケットボールに関することをメインに、盛りだくさんの内容となりました。

親善試合を行ったのは10月30日。甲南中学校チームの対戦相手は、ユニバーサル高校の卒業生チームと地元高校のチーム。勝敗ではなく、部員全員参加を目標とした親善試合は、終始、和やかな雰囲気に包まれました。

11月1日には、イリノイ大学対ルイス大学の対抗試合を観戦しました。迫力のある試合を見ることができ、部員たちは興奮を抑えることができない様子でした。

また、11月3日にはNBAを観戦。

NBAは、バスケットボールの本場アメリカ

が注目する人気リーグです。この日は、シカゴブルズ対サクラメントキングスの試合が行われ、バスケットボール部員全員が憧れの選手に声援を送りました。

会場は、選手たちだけではなく応援

する人たちの熱気で沸きに沸き、

本場アメリカならではの白熱した雰

囲気に触ることができます。

部員たちは海外遠征を前に、放課後、英会話や英語での自己

アピール、海外でのマナーなどを

事前に学習して出発しました。

ユニハイ高校の生徒たちとうち解け、

そのため、初日は少々緊張して

はいたものの、すぐに現地の人たちや

ユニハイ高校の生徒たちとうち解け、

有意義な8日間となりました。

帰国後に行われた兵庫県新人大会

では160校以上もの出場校の中から

ベスト8にランクイン。海外遠征の成果

が発揮されたといえそうです。

研究室訪問

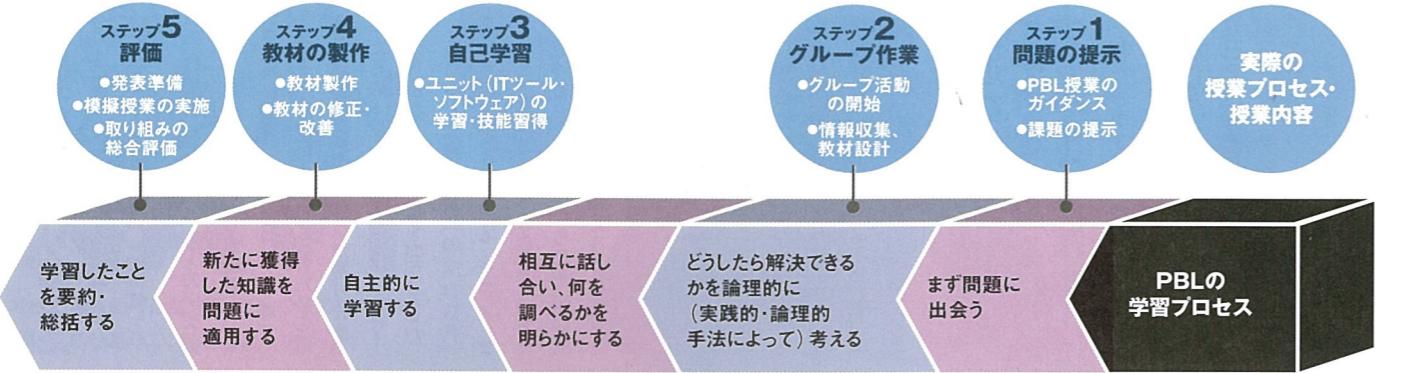
先生、知の最前線を教えてください!

IT機器の普及が作り上げた現代の高度情報化社会。

個人の扱う情報量が膨大となる一方で、人々の対人能力の減退なども指摘されています。

そこで、各研究分野の最前線に触れる当コーナーでは、情報教育研究センターの井上明准教授に

ご登場いただき、本来のIT活用の意義や最新の情報リテラシー教育について伺いました。



3 知の玉手箱

1 もうソフトは買わなくてもいい!?

最近、「Webアプリ」という、Webブラウザ上で利用できるソフトが流行っています。例えば、「Google Docs & Spreadsheets」は、Webブラウザから利用できる無料のワープロ・表計算ソフトウェアです。外出先でも、インターネットに接続されたパソコンとWebブラウザがあれば、どこからでもワープロ・表計算ができます。近い将来、「ソフトウェアを買う」ということがなくなるかもしれませんね。

2 100ドルパソコン

パソコンやインターネットを使いこなすことができるかどうかで、待遇や機会の格差が生じる「デジタル・デバイド」が大きな課題となっています。このデジタル・デバイドの国際的な格差を解消する目的で、発展途上国の人たちが幅広く使える「100ドル・パソコン」プロジェクトが進んでいます。試作機では、電力のないところでも使えるように、ハンドルを回すと発電できる「自己発電」機能もあるようです。2007年には量産化が予定されています。

3 甲南大学の情報教育満足度全国第2位!

「大学ランキング 2006年度版」(朝日新聞社発行)によると、甲南大学の情報教育は、学生満足度が全国第2位との結果が発表されました。情報教育研究センターでは、全学的な一般情報カリキュラムの提供や、学生達が日々利用するコンピュータ・ネットワークの管理・運営も担当しています。

従来の操作重視型の教育から、問題発見解決型の教育への転換。井上先生はその実践方法として、PBL (Problem Based Learning) を適用した情報リテラシー教育を行っている。PBLは、日本では問題基盤型学習と呼ばれ、医学教育の現場で開始され、その後、工学分野でも実践されている。

井上先生が導入しているのは、本学の教職課程3・4年次の講義。この授業は、①課題を提示②グループ学習で議論③教材制作に必要なIT機器やソフトウェアの選択と技術の習得④教材の実作⑤プレゼンテーションという形で、授業が進められていく。初めて導入された2004年度の講義では、最終的にPBL体験学生と操作型学習のみを経験した学生へのアンケートを検証。その結果、問題十分な向上がみられたため、現在も引き続き行われている。

ITは人や社会を豊かにするツール

近い形を提示しています

本物のツールを利用し、課題もリアルな状況設定にする。本物だからこそ、学生の意欲は強くなり、現実に即し

た能力が得られる。

「必要な情報は、インターネットや書籍で調べる。教師やTA (Teaching Assistant)にも聞く。教材制作に必要なソフトを選別した上で使う。もちろん、事前にソフトの操作知識を学ぶ。そうして自然に、従来型のIT操作の技術も身につけていきます」

将来的、情報リテラシーを教育していく。

「このPBLで大切なのは、本物であ

ることです。課題も、「兵庫県立岡本高校の3年生のクラスで、電子教材を使った、授業を受け持つ」と現実に

現出する課題に対して意見を交換し、自分たちがすべき事柄を整理。解決していく。

「このPBLで大切なのは、本物であ

ることです。課題も、「兵庫県立岡本高校の3年生のクラスで、電子教材使った、授業を受け持つ」と現実に

現出する課題に対して意見を交換し、自分たちがすべき事柄を整理。解決していく。

「このPBLで大切なのは、本物であ

ることです。課題も、「兵庫県立岡本高校の3年生

学生による学生のための就職活動サポート

甲南大学には、「学生だからできる就職活動支援を」という趣旨のもと、学生が自主的に行っていける就職支援活動があります。

就職活動を乗り越えた
ことへの恩返しから
始まった甲南OBF

Of the students, By the students, For students」の精神で、「学生の学生による、学生のための就職活動支援」という意味があります。私たちの1年先輩が立ち上げたサークルで、私たちで2期目を迎えました。

ンターや先生方、OB、OGなどの方々に助けていただいたからこそ辛い就職活動期間を乗り越えることができたという経験から、恩返しの意味を込めて後輩をしつかりサポートしようと考えたからと聞いています。

私たち2期のメンバーも先輩と同様に、「OBFの先輩たちに助けてもらったから、恩返しの形として、今度は私たちが後輩をサポートしたい」という思いで駆られた人が集まっています。

身近な先輩だからこそでできる親身なアドバイスが基本

のレクチャーを受けました。

先輩たちが卒業し、私たちがOBFとして後輩たちの就職支援をする側になり、今年は合宿を夏だけではなく冬にも行いました。合宿は、一泊二日で住吉にある平生セミナーハウスで行いました。夏の合宿では22名、冬は24名の参加がありました。

また、HPを立ち上げ、OBFの活動内容紹介や、メンバー紹介などを手がけるようになりました。

合宿は、一気にモチベーションを上げるために大きなイベントとして開催ましたが、私たちの活動にとって大切なことは、就職活動への心構えを持続させるための日常的な取り組みを行うことです。そのため、毎週水曜日のお昼休みに座談会を開催し、アドバイスや意見交換などを行いました。

参加した3年生は、身近な先輩だからこそできる相談事や、普段なかなか言えない不安や本音を打ち明けるなどして、充実した座談会になったと思います。メンバーは、自分自身の経験を踏まえて、「一緒に乗り越えよう」という気持ちを基本に、1年先輩だからこそできるアドバイスを心がけました。

受けて就職活動をしていたとき、「就職活動は辛いだけではなく、楽しいものもある」ということを実感しました。OB訪問がなければ知り合って

甲南大学OB、OG の声を伝える 就職活動をサポート

現在、私たちが就職活動のサポートとして取り組んですることは、甲南大学の卒業生で経営者の方を講師としてお招きして講演をしていただき、「経営者塾」と、甲南大学の卒業生で経営者の方にインタビューし、冊子にまとめる「経営者録」の2つです。

輩とお話ををして気付いたのですが、色々な考え方・経験を知れば、これは就職活動にも結びつくのではないかと思いまして、講演テーマを「シユウカソ」にスポットを置いたものや会社の就職活動についてお話しします。

職の三事情報を伝えてもらいたいようにお願いしました。甲南大学には経営者として活躍している素晴らしい卒業生の方がたくさんおられることが、こういった卒業生の方々の

キャリア指導の
専門家を招き新たな
取り組みもスタート

「経営者塾」は、キヤリアセンターの指導のもとに、(株)きぢり平川社長、トヨタ部品奈良共販(株)増山社長、(株)紅谷松谷社長、エン・ジャパン(株)越智社長、(株)アスクプランニングセントラーアー廣崎社長、エムピー・テクノ(株)石橋社長らに講演を依頼し、合計6

講演内容は、業界事情から事業を成功させるアイデアの出し方など多岐にわたり、参加者からは、「講演を聞いて就職活動への意欲が湧いた」と

「経営者録」をアップさせて以来、学内だけでなく学外の方からも「面白い企画ですね。興味を持っています」との連絡をいただきました。さらに、関西では初めての試みとして、4月に大学生協にバックアップをいただき、キャリア指導をされている専門家を招いて、新入生を対象に、自分自身のキャリアについて考えるセミナー「ビジョンナビセミナー」を開催します。

内容を録音してデータ起こしする
作業がなかなか大変で、現在は最初
にインタビューさせていただいた高
嶋社長のお話をまとめ、「甲南ナビ」

お話を直に聞き、人柄に触れる機会が少ないので現状です。経営者としてのさまざまな人生体験を聞き、人柄に触れる機会を持つことで、学生たちが卒業後の仕事に対応するイメージを描きやすくなり、より選択肢の多い充実した人生が送れるきっかけになるのではないかと考えました。

また、私たちは、甲南大学の活性化を図り、甲南大生としての自覚を形成することを目的として、さまざまな取り組みを行ってきました。「経営者塾」や「経営者録」で素晴らしい卒業生の方がいることを知ることで、「私たちの甲南大学は、素晴らしい大学なんだ」という甲南大生としての誇りを持つことにもつなが

「いつかは起業したい」といった感想が寄せられました。2007年からは名称を「KONANスマイルストリート」に変更し、経営者以外でも、社会で幅広く活躍されている先輩方にも講演を依頼することになっています。

また、甲南大学の卒業生で経営の方にインタビューし、冊子にまとめる「経営者録」では、甲南漬で知られた高嶋酒類食品(株)の高嶋社長や日本初の電波認証会社DSPリサーチの中西社長らにインタビューを行いました。事業の変遷や失敗談、成功談などを数時間に

A group of students in a classroom setting, likely a debate or presentation activity. Several students are standing and holding papers, while others are seated at a long table. The room has wooden paneling on the walls.

すべては後輩のために! **甲南OBF**

就職活動を経験した先輩だからこそできる
就職活動サポートで、後輩たちにエールを送る。

右：サークルリーダー
巴山剛健さん
(経営学部4年)

左：服部夏奈さん
(EPA4年)

左：服部夏奈さん
(EBA4年)

A black and white portrait of a young man with dark hair, wearing a dark sweater over a light-colored collared shirt. He is smiling slightly. To his left, there is a red circular graphic containing Japanese text.

〈2007年3月 取材〉

? こちら 示
甲 南 特 搜 部

みなさまから寄せられた疑問を徹底調査!

「**誌面作りに対する
ご意見・ご感想**

- 「フランス人は、なぜ時間にしばられないの?」を興味深く読みました。お国柄の違いですね。('71年卒・女)
- 甲南のジャズバンドのことがくわしく知りたいと思っています。('01年卒・女)
- 甲南中学のバスケットボール部は、今年、全国を狙えるチームと聞いています。ぜひ、取りあげてください。('95年卒・男)
- 特集を読んで、娘にも「甲南キャンプ」に参加するよう薦めました。(ご父母)
- 特集「甲南スピリッツ!!」を読んで、愛校心が低い人が多い今の時代にあって、甲南大生の素晴らしいを感じました。('97年卒・女)
- 「IT'S KONAN STYLE」を読むと、素晴らしい活動をされている同窓生がいることに励されます。次号も期待しています。('98年卒・男)
- 伊東先生が、オリンピックに出場されている時代から応援しています。('70年卒・男)
- 「甲南スピリッツ!!」に載っていた「ガチンコ相撲」がとても楽しそうで、若者らしくて素晴らしいと思いました。(ご父母)
- 海外留学のことを特集してください。(ご父母)
- 伊東選手が母校の助教授をされているとは知りませんでした。感激です! ('81年卒・男)
- 26号の表紙の水彩画は、一目でどこなのかがわかりました。いつも素敵な作品をありがとうございます。('05年卒・女)
- 特集ページに前田先生の写真が載っていて、とても懐かしかったです。('06年卒・男)
- 就職氷河期も過ぎ去ったとか。甲南大学の就職活動について知りたい。('05年卒・女)

「甲南Today」をお読みになったご感想や、誌面づくりに関するご意見などを編集部までお寄せください。
お待ちしています。

CANADA

Q 甲南大学の学生の印象は?

A: みんなとても親切で、明るくてフレンドリー! クラブ活動にも熱心で驚きました。カナダの大学生は、クラブ活動はほとんどしないんですよ。

Q 日本語で苦労することはありますか?

A: 日本語の勉強は、カナダの大学に入ったときからしています。留学してから、午前中は日本語を勉強していますが、一番勉強になるのは友だとの会話です。でも、漢字はとても難しい!

Q 文化の違いで驚いたことは?

A: カナダでは、知らない人でも気軽に声をかけて、会話を楽しむのですが、日本では知らない人に声を掛けると驚かれます。驚かれることに驚きました。(笑)

Q 大学卒業後の夢は?

A: 日本が大好きなので、大学を卒業したら日本で働きたいと思っています。関西の生活や食べ物が気に入っているので、できれば関西で働きたい。

Q 甲南大学に留学しようと思ったきっかけは?

〈カーラトン大学3年〉
Stefan Edwards
ステファン・エドワーズさん
カーラトン大学では英文学を専攻。ニックネームはトム・クルーズ!

Q 甲南大学に留学をして良かったことは?

A: たくさんあります。まず、コンピュータがいつでも使えるなど、学ぶ環境が整っています。それに、大学の周囲の環境も静かでとても過ごしやすいです。

Q クラブ活動はしていますか?

A: 日本拳法部に所属しています。フランスの大学生はクラブ活動に熱心で、1人で複数のクラブに所属します。

Q 文化の違いで驚いたことは?

A: 若い人が高価なブランドの洋服やバッグを身につけているので、とても驚きました。フランスでは、若い年代の人たちはスポーツメーカーの比較的安いものを身につけるのが一般的です。

Q 留学生活で最も楽しいのはどんなときですか?

A: 留学生が集まる「あじさいのーむ」で、留学生同士で話をするのが楽しいです。日本語も英語も私にとっては外国語なので、大変です(笑)。



グリコの看板の前でポーズ!

FRANCE



〈リヨン第三大学3年〉
Cathy Montusclat
キャシー・モンテスクラさん

日本拳法クラブに所属しています。ニックネームはCat、「日本語は難しい!」

Q 甲南大学に留学しようと思ったきっかけは?

A: 私は自然が大好きで、インターネットで留学先を探していたとき甲南大学を見つけて、自然がたくさんあって良い環境だなと思い、甲南大学に留学することを決めました。日本人の家庭でのホームステイにも興味があり、甲南大学に留学するとホームステイもできると聞いて、迷わず決めました。

Q 甲南大学に留学をして良かったことは?

A: たくさんあります。まず、コンピュータがいつでも使えるなど、学ぶ環境が整っています。それに、大学の周囲の環境も静かでとても過ごしやすいです。

Q クラブ活動はしていますか?

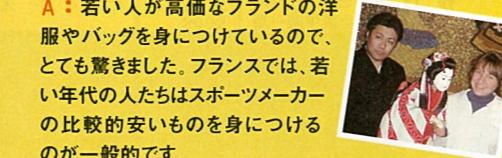
A: 日本拳法部に所属しています。フランスの大学生はクラブ活動に熱心で、1人で複数のクラブに所属します。

Q 文化の違いで驚いたことは?

A: 若い人が高価なブランドの洋服やバッグを身につけているので、とても驚きました。フランスでは、若い年代の人たちはスポーツメーカーの比較的安いものを身につけるのが一般的です。

Q 留学生活で最も楽しいのはどんなときですか?

A: 留学生が集まる「あじさいのーむ」で、留学生同士で話をするのが楽しいです。日本語も英語も私にとっては外国語なので、大変です(笑)。



U.K.

Q 甲南大学の学生の印象は?

A: みんなフレンドリーで親切ですね。まだ日本語が上手ではないのですが、理解しようとしてくれるのが嬉しいです。



留学生の友人と手前が私です。

Q 日本に来て驚いたことは?

A: イギリスと日本は文化が似ているので、そんなに驚くことはありません。ただ、街を歩いていると、みんなこっちをジロジロみるのが不思議です。

Q 甲南大学に希望することは何ですか?

A: 甲南大学は勉強する環境が整っていて、とても良い大学だと思います。ただ、キャンパス内に芸術作品がたくさんあると良いなと思います。

Q 大学卒業後の夢は?

A: 日本語をもっと勉強して日本で働きたいと思っています。それが叶わないのであれば、ロシアで働くこともあります。いずれにしても留学経験を活かしたいと思っています。



仮装パーティにて、ウサギの仮装が似合うでしょう?

〈リーズ大学2年〉
Simon Turner
サイモン・ターナーさん

Presidentとして留学生をまとめています。

Q 留学生生活で大切にしていることは?

A: 日本語をもっと自由に話せるようになりたいので、日本語の勉強に力を入れています。また、漢字をしっかり学びたいと思っているので、日本語の勉強の時間を大切にしています。1200の漢字をマスターしたいので毎日、書き取りをしています。そのため、クラブ活動をする時間が少しだけ残念です。でも、これからは友人づくりにも力を入れたいと思っています。念願の日本での留学生活ですから、有意義に過ごしたいと思っています。

U.S.A.

Q 文化の違いで驚いたことは?

A: 電車の中ではほとんどの人が**携帯電話でメール**をしているのに驚きました。皆、無言で黙々と凄い速さでメールを打っているし(笑)。家に入るときに靴を脱ぐというのは、アメリカで勉強していたから驚きませんでしたよ。でも、日本に来て初めての日、**和式トイレ**を初めて見たときは本当に驚きました。「どうやって使うの!?'って。今はもちろん、使い方を知っていますよ(笑)。



大阪城へ観光に行きました。

Q クラブ活動はしていますか?

A: 探検部に所属しています。岡山県にある洞窟の探検に行きました。スリルがあってとてもおもしろかったです。次のプログラムが楽しみです。

Q 大学でのスケジュールは?

A: 午前中は日本語で日本語を学びます。午後からは英語で日本の歴史やビジネスに関する学びを学んでいます。休憩時間や放課後に「あじさいのーむ」で留学生の友人とお話をしたりしています。

Q 甲南大学の学生の印象は?

A: みんなとても親切で、協力的。困っていたら助けてくれます。それから、クラブ活動やサークル活動に、とても熱心だと思います。

Q 留学生活で大切にしていることは?

A: 勉強第一! 留学中に日本語を上達させて、思っていることがスラスラ話せるようになります。それにしても日本語は難しいですね!



お正月にホームステイ先のママに着物を着せてもらいました。

今回の
調査依頼
**甲南大学の留学生たちに
インタビューをしてください!**

今月の
調査依頼

〈ハワイ大学3年〉
Brooke Moreno
ブルック・モレノさん
日本語とアジア研究に取り組んでいます。
ニックネーム募集中!

2006年から、100人の甲南大生を海外に送り出す「甲南プログレス・プロジェクト」が始まっています。そんななか、海外から甲南大学にやって来ている交換留学生たちは現在、34人。さまざまな国の大からやって来ている彼等の中から4人の交換留学生に、キャンバスライフや将来のことなど、さまざまな質問を投げかけてみました。



今回の
調査依頼

南鄉治氏

甲南大学
体育会ラグビーフットボール部顧問
法学部教授
藤田宏郎



平成14年12月、甲南大学と成蹊大学のラグビー定期戦は、第50回目を迎えることになった。この定期戦50周年を記念して、両校のラグビー部OBが相談した結果、この定期戦の生みの親ともいいうべき南郷茂治氏の名前を冠する「南郷茂治盃」を創設(平成16年12月)することになった。甲南にあつては、旧制甲南高等学校OBを除いて、南郷氏を知る人は極めて少ない。南郷氏とは、どのような人物であったのか、以下に『甲南ラグビークラブ七十五年誌』をもとに、その一端を紹介したい。

南郷茂治氏は、明治42年、南郷三郎氏の次男として大阪に生まれ、昭和6年、旧制成蹊高等学校を経て、昭和9年、東大文学部教育学科を卒業している。旧制成蹊高等学校時代は、ラグビー部主将として活躍し、成蹊の生んだ偉大なラガーマンといわれた。大学卒業後、父南郷三郎氏が、甲南学園創立者でもある理事長の平生鉄三郎氏と親交があつたところから、平生氏の招きにより、昭和11年、旧制甲南高等学校の西洋史の教授に就任、同時にラグビー部長としてラグビーの指導にあたつた。平生氏は南郷氏の採用について、日記に、「余ハ茂治氏ガ

西洋歴史ヲ専修セ
リトハ聞キタルガ
ドノ位ノ程度ニ修
得セルヤハ知ラザリ
シモ同君ガラグビー
選手トシテ且後進
指導ニ懇切ナリト
聞キタルヲ以テ直
チニ採用スルコトト
セリ」と書いている(『平
生日記』、昭和14年
3月29日)。

平生氏のラグビー



好きはよく知られており、同氏の「德育論」の中には、「スポーツ、特にラグビー」が念頭にあつたと思われる。日記に、ラグビーは、「第一に『フットアブレイ』、第二に『正直ナルコト』、第三に『勇猛心ヲ以テ鬪志満々タルコト』、第四に『共同ニ致スルコト』」の「四ノ大ナル徳性ヲ涵養スル最モ適シタルモノナリ」と記している(『平生日記』、昭和3年12月2日、昭和14年3月29日)。南郷氏は、甲南において、この平生氏の德育論を教育現場でラグビーというスポーツを通じて



ラグビー部部員とともに(最上段、左から3人目 南郷茂治氏)

実践した人であった。南郷氏の教育論の中心には常にラグビーがあり、德育とラグビーについて、南郷氏は「德育の徳というのは、自分も大事だが、自分と一緒に他人も大事にすること。それがラグビー」というチームスポーツにはある」と語っている（人物クローズアップ－南郷先生の教育論－、「甲南ラグビークラブ七十五年誌」）。同氏の教え子の一人は、南郷先生の授業は、時には「英語や西洋史の授業時でもラグビーの講義になつた」と回想している（同前書）。

南郷氏は、甲南在任中、ラグビー部員のみならず多くの学生に多大の影響を与え、昭和16年、甲南を去り、旧制成蹊高等学校生徒主事として母校へ戻つていった。その後、昭和18年、海軍司政官としてインドネシアのセレベス島に赴任、現地の師範学校長として活躍し、終戦により復員後、企業の役員を務め、昭和62年、帰天された。南郷氏の教えを受けた人達にとって、同氏は学生時代の回想の際、常に思い出される、終生忘れぬ人であった。

中南



▲2006年12月3日 リーグ戦最終節

Club Data	創部：8人 部員数：32人
1924	旧制甲南高校ラグビー部創部
1951	甲南大学ラグビー部創部員8名
1952	学習院大学と第一回定期戦
1953	成蹊大学と第一回定期戦(秩父宮)
1955	第六回全国地区大学優勝(名古屋)
1956	第七回全国地区大学優勝
1958	青山学院と定期戦 クラブ会誌「Fifteen」創刊
1962	甲南大学ラグビー部Aリーグとなる
1964	甲南ラグビークラブ創部40周年
1967	Bリーグ降格
1969	Aリーグ復帰
1971	Bリーグ降格
1974	甲南ラグビークラブ創部50周年
1980	大学創部30周年
1984	甲南ラグビークラブ創部60周年
1985	Bリーグ全勝優勝で入れ替え戦へ。 京都大に敗れる
1988	関西Cリーグへ降格
1989	関西Bリーグへ復帰
1991	関西Cリーグへ降格
1993	関西Bリーグへ復帰
1995	阪神・淡路大震災で学校・グラウンド・ 部員の被害大
1999	甲南ラグビークラブ創部75周年
2001	大学創部50周年。豪州合宿
2002	BリーグベストFifteenに迫田選手が選 ばれる
2003	第一回甲南ラグビー祭 BリーグベストFifteenに深津選手、 貫井選手が選ばれる
2004	成蹊大学定期戦に南郷盃創設
2006	BリーグベストFifteenに林選手が選ばれる 2006年/BリーグベストFifteenに岡本 選手が選ばれる

取材に出席された方／明路英雄さん（'62卒）、大谷英樹さん（'73理卒）、板垣泰生さん（'85卒）、相井（旧姓：川島）貴美江さん（'92卒）、山本龍平さん（'03卒）や、奥田博隆さん（當4）、佐下谷顯宏さん（法2）、川辺茂弘さん（當1）
〈2007年2月24日取材〉

人生は“ノーサイド” までベストを尽くせ

創部時は中高大と
同じグラウンドで練習

学園創立者平生釗三郎はイギリスのパブリックスクールで行われているラグビーがスポーツマンシップ、フェアプレー精神を育むのに一番だと考え、甲南高等学校にもラグビーを推薦した。その精神を受け継ぐ甲南ラグビー部(旧制甲南高等学校)は、'24年に創部。大学も開学早々の'52年に誕生した。甲南中学校時代に高校生や大学の一期生らと同じグラウンドで練習したという'62卒の明路英雄さんは、当時を語る。「部員は中高大生合わせて約50人。大学生達は優しく、運動神経の鈍かつた私を励ましてくれた。平生釗三郎先生の三男ですばらしいラガーマンであった平生三郎先輩も土曜日ごとにグラウンドに足を運ばれ、甲南ラグビーの精神を我々にたたき込まれた」。大学ではマネージャーを務めたが、最も苦労したのは練習場の確保だった。西宮球場、磯上公園、長田の競輪場と、日替わりで移動する。この状態に終止符がうたれたのは'70年頃。名古屋大会での2連覇が認められ、週三回、川崎重工のグラウンドが使えるようになる。やがて広野にグラウンドと合宿所もでき、部員たちは「前へ(進め)」と「最後までベストを尽くす」を合言葉に、体力的にも精神的にもたくましくなっていく。

「より強くなるためには部員の確保が必要だが難しかった」不安は的中し'60年代後半から

ラグビー部の低迷期が始まる。「3年の時AリーグからBリーグへ降格。翌年には部員が20人足らずに減り、私はケガを押して出場した」と、現在の監督でもある'73年卒の大谷英樹さん。「激しい練習と先輩の厳しい指導に耐えられず辞める部員も多かつた」と振り返るところが、「80年代に入り、テレビドラマ『スクールウォーズ』人気で、社会人にラグビーブームが巻き起こる。その真っ直中にいたのが、'85年卒の板垣さんたちだった。

「50～60人の部員がいたが、未経験者の入部が多く、練習は厳しさを増した。日が落ちたらグラウンドに車を持つてきて、ヘッドライトの下でスクランムを組まされた」と語る。活気が戻り、再び力を付け始めたラグビー部は'85年念願のBリーグ優勝を果たす。

ラグビーの精神を
永遠に受け継ぎたい

4回生の奥田博隆さんは、「中学校時代、太っていて100mさえ満足に走れなかつた僕をいつも励ましてくれたのは、親父よりも年上の明路さんや山本龍平さん等の先輩たちだった」と言う。奥田さんが最も気がかりなのは、やはり部員の確保である。しかし、勝つためだけに外国人選手を招聘して、強化を図りたくない。ラグビーの良さは、仲間と協力しあい、強い相手にぶつかることがある。そして、ラグビーの「アーサイド」の合図で、敵も見方も心からたがいの健闘を称え合うフエアプレーの精神にある。現役のみんなで「ラグビーがこんなにもすばらしいことを知つてもらい、一人でも多くの部員になつてもらおう」と激励する明路さんの言葉は重く、説得力があつた。



▲昭和29年 第一回成蹊大定期戦 秩父宮ラグビー場



▲機関誌 フィフティーン

フエアプレーの精神を
継承する



KONAN FORUM

の保護者および近隣住民の方々に対し、生涯学習等に積極的に取り組めるよう図書館・サイバーライブリの利用を認めることとします。

状が授与されました。(通算成績は甲南大の48勝2敗1分け)

第141回現代講座を実施

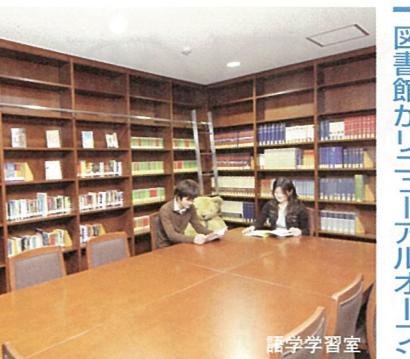
12月2日(土)、142号講義室にて、自

治会中央委員会現代講座実施委員会と広報部が共催する第141回現代講座を開催しました。講師として作家の家田莊子氏を迎え、テーマは「私の出逢った人々」。

当時は、約250名の参加者がありました。家田氏は、子どものころに女優業にあこがれ上京したが、いろいろな職業を経た後

に出版社に就職し、作家をめざしたこと。そして、当時、暴力団の抗争がはげしく、連日ニュースになっていたのを見て、その人達を取材することを思いついたが、取材することは困難をきわめ、完成したのが「極道の妻たち」であったこと。作品を作る上で取材を通じ、「無理と思われることに對しても、一度やつてみること」、「人の話を聞くことの大切さを学んだこと」など

を語り、参加している若い人々に、「可能性を信じて、一歩踏み出してほしい」と話され、参加者に希望と可能性を信じることの大切さを訴えました。



2007年4月、図書館がリユースルーム

3月26日(月)、図書館1階エントランスホールにおいて、吉沢理事長、杉村学長をはじめ、学園関係者が出席し、図書館竣工式が執り行われました。このたびの工事は、耐震補強とともに、開架図書の充実、語学学習室の開設くつろぎのスペース「リフレッシュコート」の新設等の改修を行いました。リユースルームは4月2日からとなり、新たなサービスを展開しています。

さらに、利用者枠を拡大し、学生・生徒

父母の会課外活動表彰・学生部長特別表彰

一環として情報公開する予定です。この協定は、大学・高等学校および企業が提携して、環境教育プロジェクトを推進する新たな試みとして注目されています。



■金賞
古川祐大(文学部4年)
文化会団碁・将棋部
野島梓(文学部1年)
体育会アーチェリー部
体育会弓道部

■銀賞
篠原康太郎(経営学部3年)
文化会JAZZ研究会
山本諒(文学部1年)
体育会陸上競技部女子
学年部長特別表彰

■銅賞
体育会釣りクラブ
体育会弓道部

第51回学習院大学対甲南大学運動競技総合定期戦閉会式を開催

12月9日(土)、学習院創立百周年記念会館正堂にて、学習院大学から、永田良昭学長、遠藤久夫学生部長、八木陽子スポーツ健康科学センター所長、甲南大学から、杉村芳美学長、前田忠弘学生部長、桂豊スポート健康科学教育研究センター所長出席のもと、第51回学習院大学対甲南大学運動競技総合定期戦閉会式が行われました。戦績は甲南大学22勝、学習院大学10勝で甲南大学が優勝し、大会名誉会長である永田学長より甲南大学に優勝杯・表彰

3月26日(月)、図書館1階エントランスホールにおいて、吉沢理事長、杉村学長をはじめ、学園関係者が出席し、図書館竣工式が執り行われました。このたびの工事は、耐震補強とともに、開架図書の充実、語学学習室の開設くつろぎのスペース「リフレッシュコート」の新設等の改修を行いました。リユースルームは4月2日からとなり、新たなサービスを展開しています。

さらに、利用者枠を拡大し、学生・生徒

夏期社会人講座 「世界の言語文化ーその歴史と表象」

今後のおよび予定

●1時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●2時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●3時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●4時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●5時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●6時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●7時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●8時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●9時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●10時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●11時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●12時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●13時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●14時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●15時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●16時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●17時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●18時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●19時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●20時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●21時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●22時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●23時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●24時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●25時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●26時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●27時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●28時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●29時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●30時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●31時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●32時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●33時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●34時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●35時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●36時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●37時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●38時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●39時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●40時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●41時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●42時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●43時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●44時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●45時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●46時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●47時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●48時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●49時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●50時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●51時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●52時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●53時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●54時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●55時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●56時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●57時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●58時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●59時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●60時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●61時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●62時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●63時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●64時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●65時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●66時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●67時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●68時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●69時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●70時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●71時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●72時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ
「世界共通語を探し求めたヨーロッパの歴史」

●73時限
国際言語文化センター准教授
デイディエ・シッショ

